

庁議の概要

開催日 平成27年9月15日（火）

◎項目

- 1 平成27年度11・12月広報計画案について【総務部】
- 2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

◎内容

- 1 平成27年度11・12月広報計画案について【総務部】

総務部より、資料に基づき平成27年11・12月広報計画について説明が行われた。

- 2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部局による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○ 産業振興計画について

（産業振興推進部）

産業振興計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略に関して、昨日第2回目のフォローアップ委員会を行い、総合戦略のバージョンアップの方向性、産振計画のこれまでの進捗、3年半の総括、次に向けたさらなる挑戦の方向性についていずれも了承され、3年半の成果に関しては評価をいただいた。とりあえず一区切りというところまで来たと思う。関係各部局の尽力に感謝する。

今後は、次に向けての新たな方向性、さらなる挑戦の骨子、バージョンアップの詰めと、年度末までの2期計画の目標達成への努力について、引き続きよろしく願いたい。

（知事）

3年半の総括ということで、産振関係部局の皆さんにはご尽力いただいた。

今後は、フォローアップ委員会で認めていただいたバージョンアップの方向性に基づいて、具体の検討を重ねていくことになるが、ぜひ多くの関係者の皆さんのご意見、民間の皆さんのお声を聞いていただき、それを生かしてバージョンアップにつなげてもらいたい。

○ 種苗生産・中間育成ビジネスについて

（水産振興部）

クロマグロは沖出しの尾数やその後のサイズが昨年を上回っている状況。今後、必要となる施設整備等をどう役割分担しながら進めていくのか連携を密にして詰めていきたい。

カンパチは、去年の台風で中間育成しているものがやられ試験配布ができなかったが、今年は中間育成が終わり、業者に試験配布し、実際飼ってもらった状況までいっている。それを追跡調査し、来年の暮れぐらいには出荷サイズになり販売までできるのではない

かという状況で、順調に進んでいる。

(知事)

クロマグロは、そのぐらい大きくなったらもう生き残っていくのではないか。

(水産振興部)

かなり確率は高い。全てがなくなるということはないと思う。

○ 決算監査の監査委員の意見について

(監査委員事務局)

先週監査委員会議を開き、26年度決算についての監査委員意見について議論し、今までにない意見として指定管理者制度についての意見が付された。

指定管理者制度について、今回の本庁監査のヒアリングで、施設の管理・運営内容の確認方法については、ほぼすべての課長から、総務部の「指定管理者の適正な管理・運営の確保に関する基本方針」に基づき粛々とモニタリングと業務評価をしているとの説明であった。

しかし、実際の利用者の声については、指定管理者からは聞くが利用者から直接聞くことはしていないとのことであり、監査委員からはその取り組み、仕組みが不十分との意見が出され、特に、実際の管理運営が適正にされているか把握する仕組みを今1度確認した方が良いのではないかと意見もあった。

この点については、再度全庁的な議論をしていただければと思う。

もう1点、未収金対策について、県税は前年度より減少し、徴収対策の効果が見られ、引き続き減少に向けて頑張ってもらいたいとの意見が出された一方、県税以外の約60の債権は、現年度分は全体的に減少傾向だが、過年度分が増加した結果、収入未済額が前年度よりも増えているので、各部局で所管の債権を再度確認し、対応をしっかりといただくようにといった意見を付している。

○最後に知事から以下の点について話があった

(知事)

地域の関係者の皆さんのところへお伺いし、いろいろご意見を聞いていただくというのは素晴らしいことであり、先ほども話したが、今後産業振興計画をバージョンアップしていくに当たって、ぜひ関係先の皆さんときめ細かくお話を聞いてほしい。そこにいろんなお知恵もあると思う。よろしく願います。

これから提案説明、議会対応など、連休がかなり大きいこともあって、実質的に非常に時間が短い中でいろいろな仕事があり、かなり密度濃くこの9月末にかけて仕事をしていくことになると思う。皆さん、よろしく願います。